

安平町長

瀧 孝



町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げますとともに、皆さまには、平素から町政各般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年4月の町長選挙におきまして、多くの町民の皆さまからあたたかいご支援をいただき、安平町長としての3期目がスタートしたところでありますが、緑豊かなふるさとで新年を迎えることに大いなる喜びを感じております。

昨今の地方自治体を取り巻く環境は、自己決定と自己責任が強く求められており、住民参画のもと、地方自治体が自らの判断と責任において多様な施策を展開していくことが必要とされ、改めてその責

任の重さを痛感しているところであります。

自由民主党に政権交代後、デフレからの脱却と富の拡大を目指し、景気回復のための経済政策が講じられているところですが、先行きの不透明感は一掃されず、その経済政策を国民に問うため、昨年の11月に衆議院を解散、年末の総選挙において新たな自由民主党政権がスタートしたところであり、地方においても経済の好循環が生まれ、一刻も早く景気回復の実感が得られることを期待しているところであります。

2014年の漢字大賞は「税」に決定しましたが、昨年4月に17年ぶりに消費税率が引き上げられたことが主な理由となっており、多くの国民が税金の使い方に対して厳しい目を持っていることが反映されたものと考えられます。

安平町におきましては、昨年の10月31日からソフトバンク系列会社である「株式会社さとふる」が運用するふるさと納税システムを導入し、ウェブサイトから安平町へのふるさと納税を受け付ける

サービスを開始しています。受領いたしました寄付金は、安平町を元気にするために活動する町民を応援する資金となる「あびらまちづくりファンド」として活用するとともに、行政サービスや公共事業などにも有効活用させていただきますこととしております。

遠浅地区の町有地において、いちごECOエナジー株式会社为建设していた太陽光発電所「いちご安平遠浅ECO発電所」が昨年の11月30日に完成し、12月2日より売電を開始しております。さらには、SBエナジー株式会社と三井物産株式会社が共同で出資している「苦東安平ソーラーパーク」が、今年の12月頃の完成予定となっております。原子力に代わる新たなエネルギーとして大いに期待されております。

安平町の主要な産業であります農業においては、比較的順調な生育をたどりました。米価水準の低価格化などにより、販売価格に反映されない厳しいものとなりました。また、酪農・畜産では、飼料価格や燃料の高騰、さら

には電気料金の値上げなど厳しい生産環境の中で、平年並みの生乳生産量が確保され、市場における肉用牛・豚の価格も堅調な価格で推移しており、今後も安定的に高値水準での取り引きが望まれます。

しかしながら今日の農業情勢は、漂流状態のTPP交渉など迫りくる農業グローバル化の外圧に対し、新たな農業・農村政策が半世紀ぶりの歴史的改革として推し進められ、国内農業の持続性や自給率向上の確保など重たく先の見えない課題が突きつけられており、行政も一体となって難局に対して取り組み、経営の安定と経済の向上を目指しているかなければならないと考えております。

今年には、安平町が誕生して10年目を迎えますが、10月には北海道で初となる第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会が本町で開催されることとなっており、各都道府県の多くの関係者が集う中、牛乳や乳製品などの地場農畜産物の消費拡大イベントなども予定されているなど、全町を挙げて準備を進め、安平町を全国にPRすることとしておりますので、関係各位の段階のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、町民皆さまの心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めるため、町民の皆さまと協働しながら、まちづくりのテーマである「くらしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち」実現のために努力していく所存でありますので、引き続き町民皆さまの温かいご支援とご協力をご期待いたします。

新しい年が、皆さまにとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。